

ソルガム奨励品種「風立」

畜産試験場

1 取り上げた理由

ソルガムは獣害回避作物として飼料用トウモロコシの代替として有望である。しかし、出穂するものでは、イノシシによる被害が出る場合があること、倒伏により収穫が困難な場合があることから、未出穂で耐倒伏性が強い品種が生産現場より望まれている。そこで、畜産試験場においてソルガムの極晩生種に該当する品種の検定試験を行った結果、成績優秀であった品種を奨励品種としたので普及技術とする。

2 普及技術

- 1) タイプはソルゴー型で早晚性は極晩生であり、栽培期間中はほとんど出穂しない（表1）。
- 2) 耐倒伏性は既存品種の中では強い（表1）。
- 3) 紫斑点病やすす紋病に対する抵抗性が強い（表1）。

3 利活用の留意点

- 1) 平均気温が15℃以上の時期にできるだけ早播きをする。
- 2) 栽植密度は、点播で播種量1kgが目安となる。
- 3) 水田転換畑では、飼料用トウモロコシに比べ湿害に強いが、十分な排水対策を取る。
- 4) 収穫適期は飼料用トウモロコシに比べ幅が広い。
- 5) 推定TDN含量が50.6%と飼料用トウモロコシと比較してあまり高くなく、肉用繁殖牛の給与に適する（表3）。

(問い合わせ先：畜産試験場 草地飼料部 電話0229-72-3101)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

飼料作物・牧草適応品種の選定 ソルガム (昭和57年度～)

2) 参考データ (平成20年)

播種月日：平成20年 5月23日 畦間75cm×株間5cm

収穫月日：平成20年10月23日

表1 生育特性

	出芽日数〔日〕	初期生育	病虫害程度	稈長(cm)	稈径(mm)	出穂程度	倒伏率(%)
風立	8.3	5.0	2.3	235	22.0	1.0	5.1
天高	8.0	6.0	2.0	400	14.5	1.0	41.7
風高	8.3	4.7	3.0	263	20.7	1.0	8.4
ウインドブレイク	8.0	5.0	2.7	360	9.9	2.3	38.3
おおきいソルゴー	8.0	5.7	2.3	316	11.7	7.7	34.9
備考		1:極不良 9:極良	1:無 9:甚			1:無し 9:出穂揃い	

表2 収量性

宮城県畜産試験場

	乾物重(kg/10a)	推定TDN(kg/10a)
風立	1,865	944
天高	2,196	1142
風高	1,733	1128

表3 原料草の酵素分析法による飼料成分分析結果(DM%) 長野県畜産試験場

	OCC	OCW	Oa	Ob	推定TDN
風立	27.8	70.7	10.4	59.1	50.6
天高	28.8	69.7	8.6	62.5	52.0
風高※	26.5	72.8	11.9	56.7	65.1
ウインドブレイク	24.4	74.6	10.9	62.8	46.6
おおきいソルゴー	26.3	71.9	10.6	60.8	47.7

※平成22年度より流通予定 高消化性遺伝子bmr-18含む新品種

※飼料用トウモロコシ推定TDN 糊熟期71.4%(日本飼養標準より)

※OCC:細胞内容物, OCW:全繊維, Oa:易消化性繊維, Ob:難消化性繊維

3) 発表論文等 なし